

W I L C O M M

Ver.7.15 リリース・ノート

RLS001 (Last Update : 2002/5/7)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000

K.I.S.S. Inc.



新規追加機能

1. ウィルスプール機能

スプールファイルを一覧で表示し、その画面から任意のスプールを選択し、これに送信先のアドレスを指定してメールやFAXで送信する機能です。(1)

この機能は対話型の処理になります。バッチで同様の処理をする場合には、後述のAPI機能を使用して下さい。

各バージョンによる機能の違いは以下の通りです。

	Ver.6.XX	Ver.7.11	Ver.7.15
WilComm のメニューから実行	× (2)	○	○
マップファイル作成 (オプションM)	○	○	○
FAX送信 (テキスト)	○ (3)	○ (3)	○ (3)
FAX送信 (フォーム)	×	○	○
Mail送信 (テキスト)	○	○	○
Mail送信 (PDF)	×	○	○
フォーム印刷	×	×	○
ファイル保管 (PDFまたはテキスト)	×	×	○
アドレスを直接指定して送信可能	(4)	○	○
サブスクリバで宛先を指定	(5)	○	○
PCサーバー側で設定が必要	要	不要	不要

1. メール、FAXの送信を行うためには、それぞれWilMail、WilFaxのライセンスが必要です。

2. WilComm のメニューからWILSP00Lというコマンドを実行して呼び出すことが可能です。

3. A4縦のサイズのみ出力できます。

4. メールは、サブスクリバへ事前に登録が必要です。

5. FAXは、サブスクリバを使用できません

2. ファイル保管機能

スプールファイルをPDFまたはテキスト形式のファイルで、指定のフォルダに保管する機能です。

WilMail の機能拡張として Ver.7.15 に追加されました。

使用するためには、WilMail のライセンスが必要になります。

WilComm Ver.7.15 リリース・ノート

3. API機能

OUTQに投入されたスプールファイルをWilCommが取り込んで処理する際に、ユーザー開発のプログラムを呼び出すことが可能となりました。

また、ユーザー開発のプログラムからWilCommに対して、決められた手順（ 6 ）で指示を与えますと、従来不可能であった複数のフォームをまとめて1回で送信することが可能となります。

6. 詳細につきましては、Ver.7.15 に添付のマニュアルを参照して下さい。

各バージョンによる機能の違いは以下の通りです。

	Ver.6.XX	Ver.7.11	Ver.7.15
A P I 機能の有無	無し	有り	有り
A P I 機能で F A X の送信が可能	-	○	○
A P I 機能で M a i l の送信が可能	-	○	○
A P I 機能で P r i n t の処理が可能	-	×	○
A P I 機能で F i l e 保管の処理が可能	-	×	○
複数のフォームを1つのPDFに結合	-	×	○

4. 不具合の修正

Ver.7.15 では以下の不具合が修正されています。

この一覧では、Ver.6.XX 以降に修正されたすべての不具合を記述しています。

従いまして、Ver.7.11 で修正済みの不具合も含まれております。

メッセージ・リスト表示 (WilComm メニューのオプション2)

メッセージリストに表示するメッセージが9999件を越えると異常終了してしまう
メッセージリストでF5キーを押して再表示させると、先頭行に戻ってしまう
受信のステータスがブランクとなってしまう
削除されていないメッセージの件数が32767件を越えると、ステータスがブランクとなってしまう
ステータスが送信直後に「送信済」となってしまう
オブジェクト配布簿に未登録のユーザーでは再送信が行えない
*ALLOBJ 権を持っていないユーザーでは再送信が行えない
再送信したものを再度、再送信を行うとエラーとなる
再送信したメッセージの内容を表示できない
再送信で送ると印刷データが左へ1桁ずれる
複数サーバーで使用了した場合、再送信で作成されたファイルにサーバー識別用の拡張子が付かない
メッセージリストのスプールデータ表示で、半角カタカナが文字化けしている
メッセージリストの件名に帳票の印字データを出力する設定を行っても、表示されない
FAX送信で一部のページがエラーとなった場合、 <u>ページテーブル（ 7 ）</u> の保存期間を経過する前にメッセージが削除されてしまう事がある (AS/400 を和暦で使用している場合にのみ発生)
フォームマップの処理を行うとプログラムが異常終了する

7. 処理が完了したメッセージを保管する日数を指定します。

設定された保管日数を経過した送信済みメッセージは削除されます。

WilComm Ver.7.15 リリース・ノート

ウィルスプール・ユーティリティ (WilComm メニューのオプション 11)

複数ページの帳票を PDF ファイルに変換すると 1 ページになってしまう
宛先名に日本語が入力できない
件名に日本語が使用できない
メッセージリストのステータスが "SENDING-A/WAIT" のままで、処理が行われない事がある
スプールに送信の設定をしてしまうと送信前であっても取り消すことができない
198 桁の帳票を処理すると、右側部分が欠落してしまう
送信されたメールの本文中にある件名の右横に、メッセージの 1 行目が複写されている

その他 (AS/400)

モニター開始時に、画面の 24 行目にエラーメッセージが表示される (メニューオプション 18)
モニター停止を実行すると、入力禁止のまま終了しない (メニューオプション 20)
QSTRUP プログラムに組み込んだモニター開始プログラムがエラーとなりメッセージ待ち状態になる
ページ処理結果の帳票出力先が QPRINT になっていて、環境によっては毎日プリンターへ出力されてしまう
PC から戻ってきたリザルトファイル (処理結果ステータス) を処理するプログラムが異常終了する
英小文字を使用できない環境でチルダ: "~" を使用すると、WilComm で処理した結果がブランクとなる
ページ処理 (8) が夜中に実行されるが、この時間を変更できない

8 . 不要な古いデータを削除する処理

Distribution Wizard (PC サーバー)

フォームの指定画面で、フォーム名とマップファイル名を同時に変更しないと変更が反映されない
--

WilComm Config (PC サーバー)

POP ユーザーのパスワードが画面に表示されて見えてしまう
PC シリアルコードが表示するたびに、違ったコードが表示されてしまう

WilComm Server (PC サーバー)

ページ処理がオプションで指定した日数で正常に行われない場合がある
何らかの理由で壊れたファイルを受信してしまうと、プログラムが停止してしまう
AS / 400 ヘリザルトファイル (処理結果ステータス) をコピーする際にエラーとなる
ゼロバイトのリザルトファイル (処理結果ステータス) が作成され、ステータスの更新プログラムがエラーとなり、AS / 400 側のステータスが更新されなくなる
Distribution Wizard に合致する設定が存在しなかった場合、AS / 400 のステータスが「送信中」のままで止まってしまう

WilPrint (PC サーバー)

プリンターの電源が切れている等でエラーとなった場合、正常に印刷できるまでリトライを繰り返し、後続の印刷処理ができない
--

WilComm Ver.7.15 リリース・ノート

WilMail (PCサーバー)

WilMail から送られてきたメールの送信日付が正しくない
送信日付が2つ表示される
メール受信機能でメール本文のデータをAS/400へコピーする際にエラーとなる
メール本文に大量のスプールデータを貼り付けて送信した場合、著しくパフォーマンスが低下する

WilFroms Designer (PCサーバー)

複数のODBCテーブルを使用できない
B4サイズ of 用紙を指定できないため、特殊サイズとして取り扱わなければならない
出力先のプリンタドライバに設定されているデフォルト値に影響され、指定した用紙サイズで出力されない場合がある

その他の改善点 (PCサーバー)

Windows 2000 に対応
データベースを共有化し複数サーバーで並列処理した場合の、排他制御に関する脆弱性を改善
新機能 WilNotify の追加 WilNotify: PCサーバー側で発生したエラーをメールで管理者に通知する機能
新機能 WilFile の追加 (WilMail の追加機能となります。) WilFile: スプールデータをPDFあるいはテキスト形式で、指定のフォルダへ格納する機能